



子育て支援策として望まれる学校給食費無料化

を3〜5歳児に限定する理由はないか。(柴田)

3歳未満にも減免を拡大することで、安易に乳幼児期から保育園に流れていくことを誘導することは避けたい。

市長選時に小口市長は減免拡大には1億5千万円かかると言っていた。その時点では0歳から減免拡大を考えていたのではないか。(柴田)

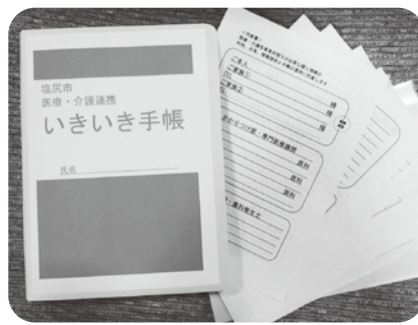
0〜5歳まで減免拡大すれば1億5千万円かかるということは承知していた。

◆学校給食費無料化を

中期全市戦略にある子育て世帯への経済的支援の一つとして、保育料の減免拡大と合わせて学校給食費無料化への取り組みを位置づけてはどうか。すぐに完全無料化は無理でも第3子以降などできる

ところから実施すべきと考えるかどうか。また、市長の保育料減免拡大に続く子育て支援策は何か。(柴田)

財源の問題もありすぐに無料化はできないが、順次拡大していくことは、私の子育て支援策のメニューには入っている。



4月から活用されるいきいき手帳

「いきいき手帳」で介護と医療の連携強化を

高齢者のかかりつけ医やケアマネジャーの情報が一目でわかる「いきいき手帳」4月からの活用法は。(古畑)

市内等の医療機関と調剤薬局で導入していきたい。

◆貸出用AEDについて

AEDは認知度も上がっている。貸出用AEDを身近な支所に設置して欲しいとの声があるが。(中村)

現在貸出用AEDは健康



こども教育部へ統合が決まった生涯学習部

づくり課に3台配備している。時期によってはイベントが重なり申請が重複するケースが増えている。地域の実情や利便性を考慮し、増設の検討をする。

報酬増 市民への説明は



◆市民に理解されるか

議員報酬の大幅増は市民に理解が得られるか。(古畑)

現在は理解が得られていないと思うので双方で理解が得られる努力が必要である。

◆市民に分りやすい名称に

組織見直しで反対意見があり、議案を出し直す考えはないか。(古畑)



なかなか整備が進まない農道

提案どおりで理解を求めていく。

市道、農道の道路管理の一体化はできないか。(古畑)

整備の前提が違うため、それぞれの区分において管理することが的確であり、一体的な管理は難しい。

◆消費税増税について

今年4月に消費税が8%に増税されたが、現在の経済状況についてどう考えているか。首相は10%への増税について、景気がどうなっているかと増税すると明言しているがどう考えるか。(柴田)

全体として市民の財布のひもは堅く、地域における消費の回復は進んでいない。再増税を見送ったのもやむを得ない。10%への増税については、再判断すべきと考える。